

# 神戸山手線非常用施設等検討業務

平成6年度 阪神高速道路公団  
(現 阪神高速道路株)

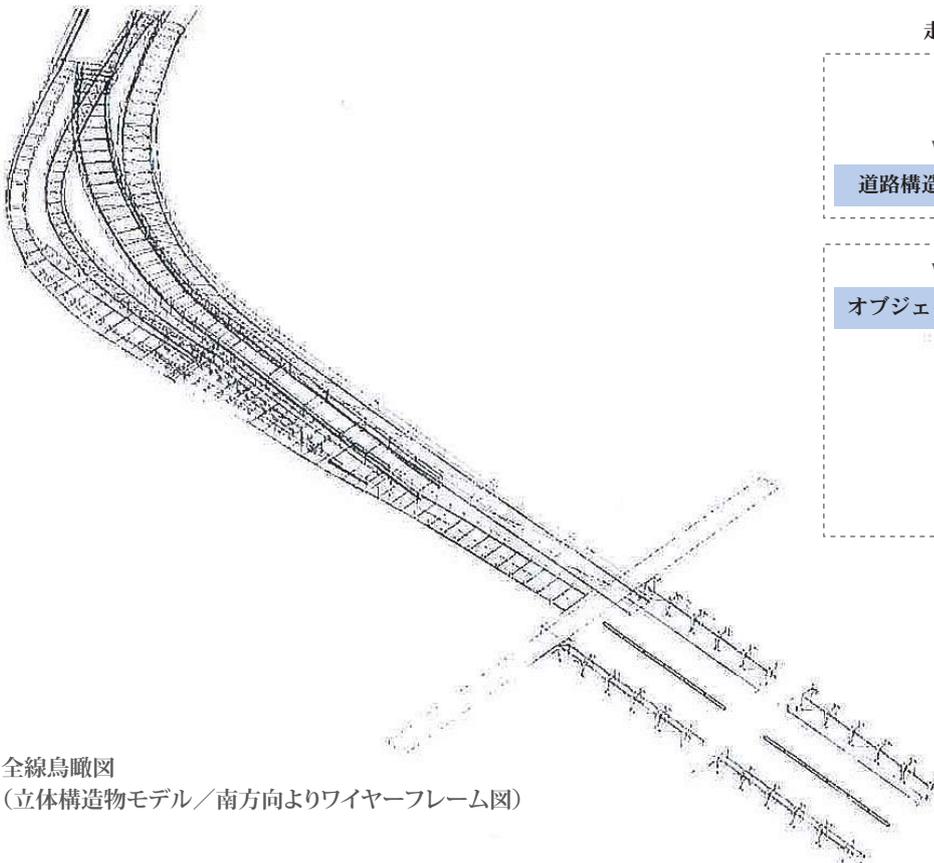


CGシミュレーション  
南行本線分岐前400m地点

- keywords
- 非常駐車帯及び非常口の配置検討
  - 標識等の配置検討
  - 交通安全対策の検討
  - CGによる走行シミュレーションの作成

阪神高速神戸山手線では、全路線の6割強がトンネル構造であるとともに、初めてのトンネル内分合流が計画されている。

そこで、標識類や非常口、非常駐車帯など、交通安全対策としての諸施設について配置検討を行うとともに、CGによる走行シミュレーションの作成により、ドライバーの視点からの効果を確認した。



全線鳥瞰図  
(立体構造物モデル/南方向よりワイヤーフレーム図)

走行シミュレーション作成フロー

